

# 市民協働をさらに高め 将来への確かな礎をつくる

4月、新年度のスタート。

1年間に行う施策や、市の進むべき指針を示すのが市政執行方針です。  
平成22年度、市がどのような取り組みを行うのかお知らせします。

## 平成22年度 市政執行方針から

景気の本格回復の遅れによって、雇用をはじめ地域経済が停滞している中で迎える新年度は、喫緊の雇用対策や地域経済活性化に迅速に取り組むとともに、「地域主権」「環境」など新たな時代の要請にも的確に対応します。さらに、これまでの改革の総仕上げであることを強く意識し、市民の皆さんと共に取り組んできた「協働」をさらに高め、課題の解決を図り、未来の発展の礎として「実<sup>みの</sup>」を大きく膨らませる施策に取り組みます。



# 1 質の高い生活環境づくり



▲仮称「こども未来館」完成予想図

厳しい経済状況を受け、雇用悪化を改善し、安心の暮らしづくりに取り組みます。

若い世代が住みやすいよう子育て施策を充実するとともに、市民誰もが健康でいきいきとした生活を送れるため、ライフスタイルに応じた総合的な健康づくり計画を策定します。

また、児童生徒の安全な教育環境と、災害時の避難場所として

て安全性を確保するため、厚田小浜益小両屋内体育館の改修の実施設計を行います。

## 具体策

- 国・北海道の制度を最大限活用しながら、喫緊である雇用の場を創出

- 子どもの視点をまちづくりに積極的に取り入れるため、新たに「子ども参加プロジェクト事業」を実施

- 大型児童センター（仮称「こども未来館」）を建設

- 子どもの発達に応じた細やかな相談体制を充実させるため、就学2年度前の5歳児を対象とした健康相談事業を、モデル事業として実施

- 待機児童の解消を図るため、花川南地区に「認定こども園」を開設

- 特定健康診査と併せ、脳ドック助成を拡充するとともに、新たに人間ドック助成を実施するため、高規格救急車を浜益支署に配備

# 2 地域経済の活性化に向けた取り組み

現下の地域経済を下支えするとともに、将来を見据え、一次産業や地場企業など地域の強みや特性を踏まえた、成長分野への投資も積極的に行います。

石狩湾新港地域をさらに活性化させるため、北東アジアとの新たな定期航路開設や、情報・流通・食品加工など重点産業の誘致に取り組みます。

また、雪氷等資源を活用した環境に優しいエネルギー供給拠点の確立に向け、関係機関と連携して推進します。

- 地場産農水産物の生産力を販売力の強化を図るため、集出荷機能を集約する「青果物販売施設」や「サケニ二次飼育施設」の整備を支援

# 3 環境・快適・持続可能な満足度の高い地域づくりを目指して

国のCO<sub>2</sub>削減目標を受け、地域においても持続可能な低碳素地域社会の実現を、地域一体となって進めます。市の組織に新たに「環境室」を設け、「環境」の視点から各施策の評価・検証の取り組みを進めるなど、環境政策を総合的に推進します。

## 具体策

- 花川南かすみ公園整備や花畔本通道路整備など、暮らしの安全・安心や地域活性化につながる公共事業を実施